



腰痛

41年卒業 佐々木 孝

最近スポーツクラブへ通っている。通ったきっかけは仕事上の事故で左手の指を切断してしまいい、それまで行っていたソフトボールが出来なくなりました。その結果体が太り、会社の健康診断で脂肪肝の診断を受け、体を動かさなくては

き合う様になり、気も弱くなった。ロードレースにも参加する様になり、5kmから10km、そしてハーフへと進み、四年前の小笠、掛川ロードレースのフルマラソンに初挑戦し、制限時間内(五時間)で完走することができた。

医者でMRI等の診断の結果、狭窄症と椎間板ヘルニアとの事であった。電気や牽引等の治療を行ったが、なかなか良くならないので去年の夏に思い切って手術を受けた。術後三日間はベッドの上で絶対安静であり、身動きの取れない状態であった。

一番困ったのはトイレの事で、ベッドの上で寝ながら行うのは、経験のある方なら分かると思いますが、これがまたなかなか大変な事であった。三日間過ぎたらトイレだけはOKとなったが、それ以外ベッドの上で安静であり、ジーとしているのなかなか辛いものであった。

十日後に抜糸をし、後はリハビリを行い、体力の回復を待つだけであった。術後三十八日間で退院をし、約十日間の自宅療養の後会社に出社する事が出来る様になった。

現在は足のシビレや痛みは和らいだが、キズ口の痛みがある為、今だに週一〜二回リハビリに通院している毎日です。最後に私の住んでいる所を紹介しよう。私の住んでいる所は、静岡県浜松市の西のはずれ、風光明媚な浜名湖のほとりにあり、館山寺温泉や弁天島温泉へも、車で十分、十五分位で行く事が出来ます。浜名湖ではこれからの時期潮干狩りに始まり、夏は海水浴に、秋には釣り、冬には西風を利用したウインドサーフィン等、マリンドジャーマッカです。是非一度はお出で下さい。



同期会

「三二一回生」

四〇年振り同期会

32年卒業 中澤正意

「あの人は誰だっけ」「あなた〇〇さんじゃ」「うわあ！お久しぶり」「平成十年」の十一月吉日、私たち昭和三二年に卒業した者が銀座第一ホテルに集合した。クラス毎の会合はそれぞれ開いていたようだが一組から三組までの卒業生が一同に会したのは初の試み



記念撮影前に談笑する一組のクラスメート

「あなたが幹事の予想をはるかに上回る六〇人が集まった。実に四〇年振り再会の同期会だ。辛苦を克服してここまで来た「エ〇歳」年輪を刻んだそれぞれの「顔」を確認し合いながらあの頃を、そして今を感慨を込めて語り合った。

「当時」もはや戦後ではない。が流行語になったが戦争の傷跡があそここにまだ残るやるせない世相であった。

- *第五福竜被爆
- *洞爺丸遭難事故
- *砂川基地反対闘争
- *日米MSA協定
- *造船疑獄
- *鳩山から岸内閣へ

こうして暗く重苦しい出来事が相次いだ反面、NHKや民間テレビが放送を開始し電気店や街頭テレビにプロレスやボクシング見たさに黒山の人垣が出来たのもこの頃であった。また「お富さん」「黒百合の歌」「有楽町で逢いましよう」が親しく歌われ、「俺は待っているぜ」「錆びたナイフ」も世に出て空前の裕次郎

訂正

第22号4頁、谷畑ミカデ氏の記事中、「飯村出」賞誤

「新村出」賞正
お詫びして訂正します。

